



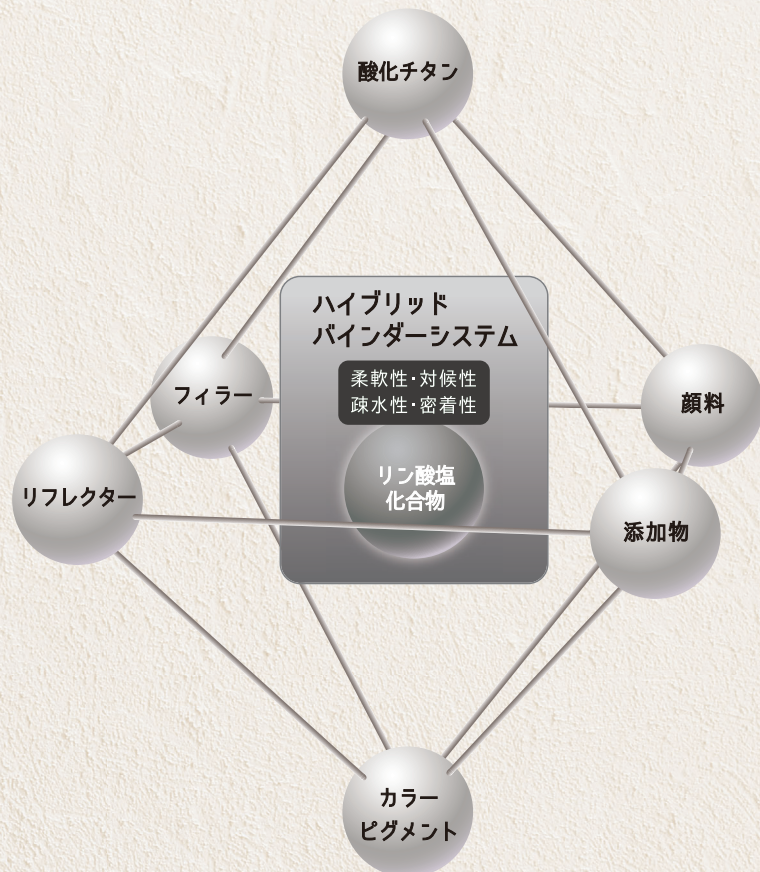
APOLITEC PAINT FINE

水性・高反射・高耐久・高伸縮・防水型

高機能塗料で快適な暮らしを
高反射+ α ×高耐久×高密着

アポリテックペイントファインとは…

アポリテックペイントファインは、
塗膜の劣化要因の影響を
最先端技術によって最小限にとどめ、
塗料に初採用の特許技術によって
驚くべき対候性を実現した世界初の塗料です。
なおかつ、水性で高い反射・放射性を持つため、
人にも環境にも優しい安全な製品です。
さらに、高価な多機能・高機能塗料に比べ、
材料費を大きく抑えることに成功しました。
この圧倒的なコストパフォーマンスで
他社との差別化に貢献いたします。



01

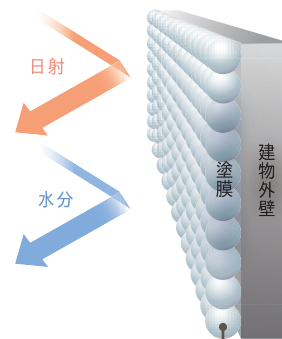
高密着性

定着バインダーに秘密があります！

アポリテックペイントファインは、独自の特許技術によって強気に結合したバインダーが使用されており、その結合力によって高い密着性を実現しています。またその強い結合力によって塗料に含まれる顔料や添加剤と強気に結合し「強い塗膜」を造り上げます。

	JIS規格	アポリテックペイントファイン
付着強度	0.5 (N/mm ²)以上	2.5 (N/mm ²)以上

アポリテックペイントファインの密着強度はJIS規格の5倍！



建築塗料で世界初の革新的な定着バインダー！



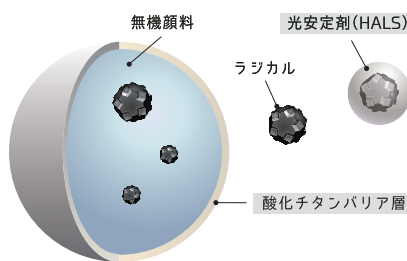
密着実験

<https://youtu.be/-l6oj7TCZh4>

02

高耐候性

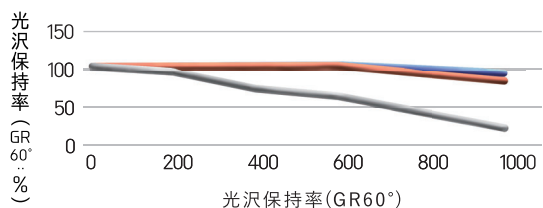
アポリテックペイントファインは、独自のブレンド配合によって作られた高耐久性ハイブリッドバインダーにラジカル制御型の顔料を加え、長い耐久性能を発揮します。また、水の浸入を防ぐことで劣化を抑制し、塗替え回数を抑えることでトータルコストパフォーマンスに優れています。独自技術で特殊改良した酸化チタンでラジカルの生成を抑制し、酸化チタンのバリアをすり抜け発生したわずかなラジカルは光安定剤(HALS)で封じ込めることで、塗膜の劣化を最小限にとどめることができます。



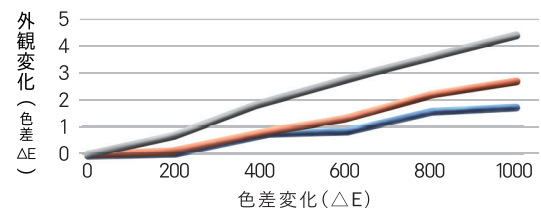
ラジカルとは、塗料内の顔料が紫外線や大気中の水分や酸素などと接触して発生する塗膜劣化因子。

促進耐候性試験では、耐候一種、また高耐候性樹脂塗料(フッ素樹脂塗料)に負けない結果に！

超促進耐候性試験(ダイプラメタルウェザー) DMW試験(GR)



超促進耐候性試験(ダイプラメタルウェザー) DMW試験(ΔE)

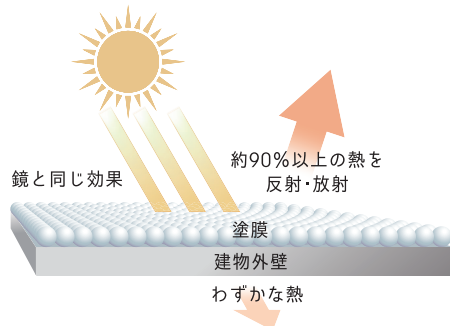


■ アポリテックペイントファイン ■ 高耐候樹脂塗料 ■ アクリルシリコン(耐候1種)

03

高反射性

アポリテックペイントファインを塗布した面は、太陽からの輻射熱の90%以上を反射し、また反射できず塗膜に侵入した熱も、その90%以上を放射(排熱)することで、塗膜の熱だまりを防ぎます。建造物の屋根・外壁に塗布していただくことで室内温度を低下させ、夏の空調使用電力を大きく削減することができます。

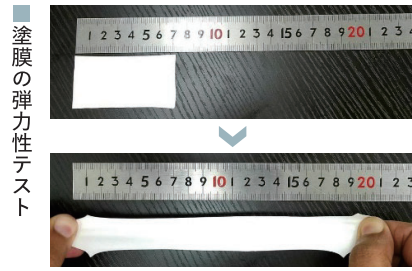


■ 優れた熱反射・排熱メカニズム

feature 04

高伸縮・
高耐水性

定着バインダーの特徴である弾力性により塗膜劣化原因である水の侵入を防ぎつつ、湿気は排出することができます。また、地震などによる建物の揺れや寒暖差による伸縮に追従することができます。アポリテックペイントファインは施工性にも配慮された製品です。施工性と弾力性をバランスよく両立させます。



伸縮性	透水性	透湿性
DIN 53504	JIS A 6909 B法	DIN EN ISO 7783-2
引張強さ 2.2±0.7N/mm ² 250%±80	0.2ml/24h	0.708m
	JIS6909 防水型外装薄塗材基準 0.5ml以下	V ₂ (3段階中2番目)

feature 05

水性塗料
地球にやさしい

アポリテックペイントファインは、水性で嫌なにおいもなく、安全な塗料です。また、住宅や事業所、工場など場所を問わずご使用いただけます。日本塗料工業会では、水性塗料VOE含有量が1%未満の塗料をエマルジョン塗料VOC対策品と定めており、アポリテックペイントVOE含有率は0.4%ですので、もっともVOCの低い分類(クラスW1)となります。

	分類	内装	外装	VOC含有率(%)	備考
水性塗料	W1	◎	◎	1%未満	エマルジョン塗料VOE対策品
	W2	○	◎	1%以上5%未満	エマルジョン塗料一般品
	W3	△	○	5%以上	エマルジョン塗料特定品 水溶性塗料一般品

表:(社)日本塗料工業会「塗装設計・施エマ

■アポリテックペイントファイン 試験データ

	試験方法	試験結果	評価
外観	JIS A 6909		被膜にしわ、むら、剥がれ、割
密度	DIN/ISO 2811-1	1.2g/cm ³	
光沢	DIN EN 1062-1		光沢:壁用 7分艶、屋根
付着性	DIN EN 1542 JIS A 6909	標準時:2.5N/mm ²	※JIS 基準 0.5N
		浸水後:1.8N/mm ²	
		温冷繰返し後:2.0 N/mm ²	
透水性	JIS A 6909 B 法	0.2ml/24h	JIS6909 防水型外装薄塗材基
透湿性	JIS Z 0208	96g/m ² ・24h	
	DIN EN ISO 7783-2	0.708m	
反射率	JIS K 5602	近赤外反射率:90%	JIS K 5675 高明度色
		日射反射率:89%	
伸縮性	DIN 53504	引張強さ 2.2±0.7 N/mm ² 250%±80	
耐摩耗性	DIN EN ISO 11998	200 擦りサイクル 塗膜損失≦5 μm	クラス1(※最も低い)
耐衝撃性	JIS A 6909		ひび割れ、剥がれ及び著しい
耐凍性	DIN EN ISO10545-12	>250 サイクル	ひび割れ、剥がれ、気泡、ふく
氷解・解凍	DIN 52104-1	>350 サイクル	ひび割れ、剥がれ、気泡、ふく
促進対候性	DMW(※ダイブラメタルウェザー)	>1000 時間	光沢保持率 80%以上、色
温冷繰返し試験 (サンダーシャワーテスト)	JIS A 6909 DIN EN 13687-2	10 サイクル (23°C(18h)⇒-20°C(3h)⇒50°C(3h))	ひび割れ、剥がれ、気泡、ふく
耐アルカリ性B法	JIS A 6909		ひび割れ、剥がれ及び著しい

APOLITEC PAINT 各種塗料

■アポリテックペイント FINE(ファイン) (屋根用/外壁用)

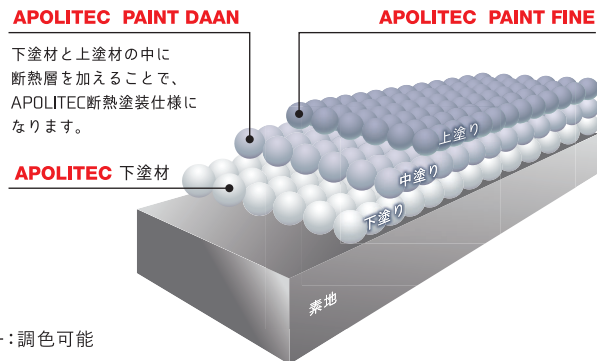
特許技術によって優れた超密着性を持った、高耐久・高反射性塗料

●荷姿:14kg/缶 ●塗布面積目安:40~50㎡/缶(2回塗り) ●カラー:調色可能

■アポリテックペイント DAAN(ダン) (屋根用/外壁用)

アポリテックペイントファインの高反射性に
+αの断熱性能を付与する中塗り用塗料

●荷姿:10.5kg/缶 ●塗布面積目安:≦60㎡/缶(塗布回数・膜厚によって異なります) ●カラー:調色可能



APOLITEC Under Coating 下塗材シリーズ

■アポリテックサビ止めエポ 2液速乾弱溶剤形変性エポキシ系サビ止め塗料

アポリテックサビ止めエポ 2液速乾弱溶剤形変性エポキシ系サビ止め塗料

適応下地:鉄・アルミ・ステンレス・亜鉛メッキ(ガルバニウム鋼板、溶融亜鉛メッキ鋼板など)・コンクリート・押出成形板・旧塗膜など

●荷姿:16kgセット ●塗布面積:95~114㎡/セット ●カラー:ブラウン/グレー/ホワイト/ブラック

■アポリテックマルチパワーシーラー 2液弱溶剤形エポキシ樹脂系浸透性シーラー

適応下地:コンクリート・モルタル・PC板・押出成形板・フレキシブルボード・窯業系サイディング・ケイ酸カルシウム板・化粧スレート・スレートなど

●荷姿:15kgセット ●塗布面積:75~187㎡/セット ●カラー:ホワイト/透明

■アポリテックカチオンシーラー 1液水性カチオン形アクリルエマルション系下塗材

適応下地:コンクリート・モルタル・各種窯業系サイディングなど

●荷姿:15kg/缶(透明) ●塗布面積:80~150㎡//缶 ●カラー:クリアー

■アポリテックサーフ 1液水性シリコン樹脂サーフェーサー

適応下地:モルタル・コンクリート・ALC・サイディングボード・その他旧塗膜(アクリルリシン、吹付タイル)など

●荷姿:15kg/缶 ●塗布面積:37~75㎡/缶 ●カラー:ホワイト

■アポリテックフィラー 水性特殊弾性フィラー

適応下地:モルタル・コンクリート・ALC・サイディングボード・その他旧塗膜(アクリルリシン、吹付タイル)など

●荷姿:15kg/缶 ●塗布面積:33~75㎡/缶(ウールローラー)、17~30㎡/缶(多孔質ローラー・リシンガン) ●カラー:ホワイト

※本カタログに記載されている内容は、一般的な環境下での施工を想定しております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、営業担当までご相談ください。※各数値は、すべて標準値です。被塗布面の形状、素地の状態、気象条件、施工条件などにより、それぞれ多少の誤差が生じることがあります。※詳細な塗布仕様につきましては、塗装仕様書をお取り寄せください。

「塗る」だけじゃない。機能を付与する「護る」塗装へ。

製品情報

製品名	工程	系統	基本色数	ツヤ	容量	荷姿
アポリテックペイントファイン屋根用	上塗り	水性高反射高耐久防水型塗料	6色	5分艶	14kgℓ	一斗缶
アポリテックペイントファイン外壁用			42色	7分艶		

■一缶あたりの塗布面積目安

アポリテックペイントファイン	化粧スレート	波型スレート	金属鋼板屋根材	
屋根用	80㎡/缶	80㎡/缶	100㎡/缶	
アポリテックペイントファイン	窯業系サイディング	RC・コンクリート・ALC	吹付タイル・リシン面	金属系外壁材
外壁用	100㎡/缶	100㎡/缶	60㎡/缶	100㎡/缶

※記載数値は、1回塗りでの塗布面積です。塗布目安数値は、一般的な素地の形状・色・状態によって算出しています。形状によって塗布量が変わることがあります。

施工要領

- ①下地調整
錆・浮き・ひび割れなど素地に異常がある場合には適切な処理を行ってください。
- ②洗浄
施工面のゴミ、ホコリ、カビ、コケ、付着物を入念に除去してください。洗浄後は十分に乾燥させてください。
- ③養生
施工箇所周辺への飛散、汚染の恐れがある場合に行う養生工程であり、施工箇所の周辺の部材や、構造物周辺の住民などの第三者、車や植え込みなどへの材料の飛散による汚染の心配がある場合、施工前に、養生フィルムやシートなどを用いて適切な養生を行なってください。注) 施工箇所以外の場所に間違えて材料を付着させてしまった場合には、その都度、乾燥する前に、速やかに水洗いをしてください。
- ④アポリテックペイントファインの塗布
適切な下塗材を施工仕様に従って塗布してください。塗布方法は、ローラー、刷毛、スプレーをご使用ください。ムラにならない様、均一に塗布してください。塗布量は前記塗装仕様書をご確認ください。※素地の形状・吸水性により誤差が生じます。1回目の塗布後、表面をよく乾燥させます。(2時間以上) ※低温下・高温下・塗膜の厚さにより乾燥時間は変動します。状況に応じてご判断ください。乾燥後、2回目を塗布します。塗布後表面をよく乾燥させます。(24時間以上) ※素地の透け・ムラなどを確認の上、下地が完全に隠れしるまで塗布してください。注) 必ず全面に塗布する前に狭い面積でテスト施工を行い、表面の色や質感に変化がないことを確認の上、施工を行ってください。

施工上の注意事項

- 各表の数値は、すべて標準値です。被塗面の形状、素地の状態、気象条件、施工条件などにより、それぞれ多少の誤差が生じることがあります。■カタログに記載されている内容は、一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、営業担当までご相談ください。■吸い込みの大きい下地(ケイカル版、石膏ボード、スレート板、合板など)では、規定以上の塗布量が必要となる場合があります。必要な場合、下地に応じて下塗材を使用し、吸い込みを抑制してから塗装を行ってください。■素地の状態により表面の目荒らしが必要な場合があります。■エンボスなどの凹凸模様のある箇所への塗装は、その箇所に応じて塗布量の幅が生じます。狭い面積でテスト塗りを行い、塗布量を測定してください。■塗料を塗り重ねる場合、所定の塗装間隔を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良などの起因となります) 下塗りが不十分の場合、素地の吸水性が止まらず、上塗りの材料が標準より多く必要になることがあります。下塗りの材料の仕様を厳守し施工を行ってください。■下地の状態や種類によっては、下塗材の選定が必要になる場合があります。■旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。■反射塗料は、使用量が少なくなると、色相が変化して見えたり、十分に隠れしなかったり、反射効果が低下する場合があります。十分な効果が得られるよう、必ず標準塗装仕様を厳守し、下地の色が透ける場合は、十分な量を塗布してください。■希釈しすぎると、反射性能や隠蔽性に影響を与えます。規定の量を厳守してください。■サビの発生しやすいエッジ部、もしくはサビが発生している鉄部への塗装の場合、入念なケレン後、サビ止めで部分補修を行ってから下塗りしてください。■シーリング面への塗装は、塗膜の汚染・はく離・収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので、行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、シーリングに劣化・ひび割れなどの損傷がないことを確認し、また、打ち直した場合は、シーリングを完全に硬化させ、シーリング材との密着適合性のテスト後、施工を行ってください。■塗布時、下地や躯体がしっかりと乾燥していることをよく確認してください。ピンホールや浮きの原因となりますので、新築時や結露の多い箇所への塗装は注意が必要です。■絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。■塗装後の乾燥不十分な状態で、降雨結露などがある、また、低温、高湿度であった場合、膨れ、剥離、割れ、白化、シミが発生する恐れがあります。そのような状況下での塗装は避けてください。やむを得ず塗装する場合、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。■降雨、降雪またはその直後及び、外気温・塗布表面温度5℃以下、湿度80%以上の時の施工は避けてください。■材料は使用前に、電動攪拌機で十分に攪拌してください。■スプレーノズルの先端は、使用後水洗いしてください。作業効率の低下、及び塗リムラの原因となります。■表面に特殊セラミック処理、ガラスコーティング、フッ素コーティング、撥水処理、光触媒処理などの特殊な処理を行っている場合には、塗料の付着性や性能に影響を及ぼす可能性があります。塗装を避けてください。■休憩等で長時間材料を使用しない場合は、蓋をすく養生をして乾燥を防いでください。再使用する際は、再度攪拌を行ってください。■低温時は、乾燥時間が長くなります。最終養生では十分に乾燥養生を行ってください。



注意

吸入および皮膚に触れた場合、中毒やかぶれを起こす恐れがありますので、材料をご使用前に必ず下記の注意事項をお読みいただき、適切な取扱方法で、安全に作業を行ってください。

材料取り扱い上の注意事項

- 【火気注意】
○使用する材料類は引火性の無い不燃材ですが、火気近くでの保管は避けてください。○熱・火花・炎・高温になるものから遠ざけてください。○万が一の火災に備えて消火器(粉末・泡消火薬剤などの適切なタイプ)を用意してください。
- 【換気対策】
○通風性の悪い場所(槽内など)で作業する際は、酸欠防止のため、送風ファンを使用して換気を十分に行なってください。
- 【保護具の使用】
○材料類が皮膚に接触すると、発赤やかぶれなどの皮膚炎症が出ることがありますので、材料取扱時は、保護手袋・保護衣を着用してください。○作業前に保護クリームを手塗ることも、材料が直接皮膚に侵入しないため炎症防止の効果があります。
- 【材料の付着・吸引時の処置】
○皮膚に付着した材料を落とす時は、溶剤を使用せず、石けんや洗剤を使用して水で十分に洗い流してください。○皮膚に痛みや炎症が発生した場合には、速やかに医師の診察を受けてください。○材料から発生する蒸気・噴霧ガスを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、速やかに医師の診察を受けてください。○万が一、誤って飲み込んだ場合には、速やかに医師の診察を受けてください。
- 【材料保管】
○直射日光・雨・雪の当たらない屋内で保管してください。○加熱される場所や火気の周囲には保管せず、5℃以上25℃以下の温度で保管してください。○容器は密栓した状態で保管してください。○子供の手の届かない場所で保管してください。○少量での消防法の規制はありません。
- 【その他の注意】
○材料の計量・小分け作業は、ビニールシートなどの養生シートの上で行い、材料がこぼれた場合は、ウェス等で拭き取ってください。○材料の残材、材料の付着したウェスなどは密栓した状態で保管し、廃棄する時は、廃棄物処理業者に委託してください。○空容器の処理は、完全に内容物を出した状態で、各自治体の規則に従って、廃棄物処理業者に委託してください。○指定された材料以外のものと混合しないでください。○本来の用途以外の目的に使用しないでください。○詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)を参照してください。

製造元

Diverdyne株式会社 愛知県名古屋市中区泉1丁目1番35号 ハイエスト久屋5F TEL:052-734-8088

Ver.2-1